

平成29年度 あいかわ町民活動応援事業 審査結果一覧

No.	事業名	新規・継続	団体等名	代表者名	設立時期	総事業費 (円)	補助 申請額 (円)	申請内容	採否	補助金交付額 (円)
1	中津川仙台下河川敷整備および花畑事業	新規	中津川仙台下クラブ	沼田 彰	平成23年6月 (5年9ヶ月)	963,000	300,000	<p>中津川仙台下河原を整備・保全するための「草刈り・整地作業」と、町内の名所づくりを目指す、「花畑造り」を実施するもの。</p> <p>「花畑造り」は現在、団体が維持管理している角田仙台下の農地1.2haに、春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスなどの季節の花を植えるもの。 この花を植え作業には、町民等も巻き込み、地域住民の手作りによる名所づくりを目指す。</p> <p>この事業によって、本町の豊かな自然や、中津川の水辺環境を整備・保全し、町民等共通の憩いの場として、また、不登校・発達障害者のフリースクールの野外体験場や、町内の育成会活動等、各種イベント会場としての利活用を促進し、町のシンボルとして身近な水辺環境(中津川)に気軽に親しんでもらい、「愛川町のイメージアップ」を図る。</p>	採用	300,000
2	愛川に稲作漁労文化およびマコモを復活させる事業	新規	NPO法人地球と共に生きる会	渡邊 政男	平成14年7月 (14年8ヶ月)	295,000	236,000	<p>箕輪耕地の遊休・荒廃農地や、休耕田を活用し、マコモ栽培と米の無農薬による作付けを行うもの。</p> <p>マコモは、イネ科の多年草で、米と比較すると、栽培容易なため、各地(近隣では大磯町)で休耕田対策として、また、特産品として栽培されているもので、水質浄化作用も有するため、水質汚濁を防止し、環境保全に繋げるもの。 また、マコモの作付けと併せて、無農薬農法による米の作付けを広く、町民等、子ども達を巻き込み、実施することで、食育の一助とし、食の改善意識を喚起する。 これらの取り組みに併せ、お田植え祭や、流し雛などのイベント的な要素も取り入れつつ、日本古来の文化に触れる機会を提供するなど、多くの町民等が、興味を持って、この事業に関わりを持てるよう、また、地域おこしとしての効果も期待し、実施する。</p>	採用	236,000
3	第4回愛川アドベンチャー	継続 (3回目)	Aichan Adventure	佐藤 圭介	平成26年7月 (2年8ヵ月)	840,000	300,000	<p>愛川町(エリアは検討中)を舞台に、町民等をはじめ、県内外の子どもから大人まで幅広い年齢層を対象にアドベンチャーレースを開催するもの。</p> <p>レースの参加者等へ町の豊かな自然を楽しんでもらいつつ、コースに設けたチェックポイントにおいて、町の歴史、特産品、グルメを紹介するなど、楽しみながら、この町を知ってもらうもの。 また、町内の宿泊施設や、飲食店をレース中、レース開催日の前後に利用してもらうことができるよう案内するなど、この事業を観光客誘致のきっかけとするとともに、レース中に、地域貢献や、地域との交流を促す仕組みを設け、参加者等と地域の協力者等、双方が、町の魅力を再発見することができるよう、また、町の活性化にも期待して実施する。 ①4月～5月:体制固め ②6月～1月:開催準備 ③1月レース開催</p>	採用	300,000
合計						2,098,000	836,000			836,000